

令和4年度取組実施結果一覧

【基本目標Ⅰ】安定給水の確保と安全性の向上

施策	取組	達成度	貢献度	方向性区分	頁番号
1 水道水・工業用水の水質管理の徹底	1 水源の保全	3	A	I	P1~
	2 安全でおいしい水の取組	3	A	I	P3~
	3 工業用水の水質管理	3	A	I	P5~
	4 受水槽設備の適正管理に向けた支援	3	A	I	P7~
	5 直結給水方式の導入促進	3	A	I	P9~
	6 市立小・中学校の直結給水化	4	B	Ⅱ	P11~
2 県内水道事業者や企業団等との広域連携	7 ダムの相互連携等による水運用	3	A	I	P13~
	8 最適な水道システムの実現に向けた取組み	3	A	I	P15~
3 水道・工業用水道の災害時における機能強化	9 水道施設の耐震化	4	A	I	P17~
	10 水道管路の耐震化	3	A	I	P19~
	11 水道基幹管路の強化	3	A	I	P21~
	12 工業用水道基幹管路の強化	3	A	I	P23~
	13 応急給水拠点等の整備	3	A	I	P25~
	14 災害時の飲料水確保	3	A	I	P27~
	15 施設の停電対策・浸水対策	4	A	I	P29~
4 水道・工業用水道の危機管理対策	16 災害対応能力の強化	3	A	Ⅱ	P31~
	17 災害時の連携強化	3	A	Ⅱ	P33~
5 水道・工業用水道の施設・管路の老朽化対策	18 施設の計画的更新	3	A	I	P35~
	19 管路の計画的更新	3	A	I	P37~
	20 施設・管路の将来構想	3	A	I	P39~
6 水道・工業用水道の施設・管路の維持管理	21 施設の維持管理	3	A	I	P41~
	22 管路の維持管理	4	A	I	P43~
	23 管路付属物の維持管理	3	A	I	P45~
	24 給水管の保全	3	A	I	P47~
7 水道・工業用水道の地球温暖化対策	25 再生可能エネルギーの有効利用	3	A	I	P49~
	26 省エネルギー対策	4	B	Ⅱ	P51~
8 水道・工業用水道の資源・施設の有効利用	27 資源・施設の有効利用	3	A	I	P53~
	28 再生資源利用の推進	3	A	I	P55~

【基本目標Ⅱ】下水道による良好な循環機能の形成

施策		取組	達成度	貢献度	方向性区分	頁番号
9	浸水対策	29 重点化地区・局地的な浸水箇所における浸水対策	3	A	I	P57～
		30 水処理センター・ポンプ場の耐水化	3	A	I	P59～
10	下水道の管きよ・施設の地震対	31 下水管きよの地震対策	3	A	I	P61～
		32 水処理センター・ポンプ場の地震対策	3	A	I	P63～
11	下水道の危機管理対策	33 災害対応能力の強化	3	A	II	P65～
		34 災害時の連携強化と災害リスク情報の発信の推進	3	A	II	P67～
12	下水道の管きよ・施設の老朽化対策	35 下水管きよの再整備	3	A	I	P69～
		36 水処理センター・ポンプ場の再構築	3	A	I	P71～
		37 水処理センター・ポンプ場の設備更新・長寿命化	3	A	I	P73～
13	下水道の管きよ・施設の維持管理	38 下水管きよの維持管理	3	A	I	P75～
		39 水処理センター・ポンプ場施設の維持管理	3	A	I	P77～
14	下水道の高度処理	40 水処理センターの高度処理化	3	A	I	P79～
15	合流式下水道の改善	41 合流式下水道の改善	3	A	I	P81～
16	下水道の未普及地域の解消	42 下水道の未普及地域の解消	3	A	I	P83～
17	下水道の事業場指導・水質管理	43 事業場排水の指導	3	A	I	P85～
		44 良好な放流水質の確保	3	A	I	P87～
18	下水道の地球温暖化対策	45 地球温暖化対策	3	A	I	P89～
19	下水道の資源・施設の有効利用	46 資源・施設の有効利用	3	A	I	P91～
		47 再生資源利用の推進	3	A	I	P93～

【基本目標Ⅲ】市民サービスの充実と持続可能な経営基盤の確保

施策		取組	達成度	貢献度	方向性区分	頁番号
20	お客さまとの信頼関係の構築	48 川崎の上下水道の魅力の情報発信	3	A	II	P95～
		49 適正な給水装置・排水設備工事の確保	3	A	II	P97～
		50 水道料金・下水道使用料の公平かつ適正な徴収	3	A	II	P99～
21	お客さまの利便性の向上	51 上下水道お客さまセンターの品質向上	3	A	II	P101～
		52 給水装置関連業務のオンライン化	3	A	I	P103～
		53 新たなサービスの提供に向けた取組	3	A	I	P105～
22	世界の水環境改善に向けた国際事業	54 官民連携による国際展開	3	A	I	P107～
		55 技術協力による国際貢献	3	A	I	P109～
23	持続可能な経営基盤の確保	56 組織機構の見直し及び職員定数の管理	3	A	I	P111～
		57 人材育成の推進	3	A	II	P113～
		58 デジタル化の推進	3	A	I	P115～
		59 資産の有効活用	3	A	I	P117～
		60 財政基盤の強化に向けた検討	3	A	II	P119～

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給	
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底	
	取組 1	水源の保全	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	市民がいつでも良質で安全な水を利用できるように水源を保全します。		
取組の概要	水源を保全することで原水の水質悪化を抑制し、良質で安全な水を供給します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> 相模湖と津久井湖でのエアレーション等によるアオコ対策 <ul style="list-style-type: none"> ①アオコ異常発生抑制対策 相模貯水池のしゅんせつによる堆砂対策 <ul style="list-style-type: none"> ②相模貯水池のしゅんせつ 流域の関係事業所への水質汚濁防止の協力要請など水源水質の保全に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ③水源水質の保全に関する活動 		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相模湖と津久井湖でのエアレーション等によるアオコ対策 <ul style="list-style-type: none"> ①アオコ異常発生抑制対策については、川崎市の主な水源である相模湖と津久井湖において、富栄養化の進行により異常発生するアオコを抑制する対策を実施します。 相模貯水池のしゅんせつによる堆砂対策 <ul style="list-style-type: none"> ②相模貯水池のしゅんせつについては、相模湖上流域の災害防止や有効貯水容量の維持を目的として、相模湖を中心とする相模貯水池において年間15万m^3のしゅんせつを実施します。 流域の関係事業所への水質汚濁防止の協力要請など水源水質の保全に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ③水源水質の保全に関する活動については、相模湖・津久井湖への水質汚濁を防止するため、水源を共にする県内水道事業者と企業団による特定事業場等への水質汚濁防止の協力を要請します。
----------	--

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	<ul style="list-style-type: none"> 相模湖と津久井湖でのエアレーション等によるアオコ対策 <ul style="list-style-type: none"> ①アオコ異常発生抑制対策については、相模湖と津久井湖のエアレーション装置を稼働し抑制対策を実施しました。 相模貯水池のしゅんせつによる堆砂対策 <ul style="list-style-type: none"> ②相模貯水池のしゅんせつについては、令和4年度は、上流からの土砂流入が少なかったため、主に運搬距離の長い下流部で浚せつを行ったことから作業効率が低下し、年間のしゅんせつ量は12.4万³m³に落ち着きました。 流域の関係事業所への水質汚濁防止の協力要請など水源水質の保全に関する活動 <ul style="list-style-type: none"> ③水源水質の保全に関する活動については、水源域の特定事業場、ガソリンスタンド及びゴルフ場に対し、水質汚染防止の協力を要請するなど保全活動を実施しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値								
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 881,669 繰越 84,137 予算額 768,596 決算額				
工水	予算額 303,198 繰越 43,686 予算額 286,851 決算額					303,198 43,686 286,851	1,200,000

（単位：千円）

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載) 相模湖上流域の災害防止や有効貯水容量の維持を図るため、流入土砂量や貯水池内の堆砂状況、貯水池の利用状況等を踏まえ、しゅんせつを継続する必要があります。 また、気候変動に伴う大雨の増加や藻類による水質悪化など、今後も原水の水質に影響を及ぼす事象が予想されます。
	貢献度区分 A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	施策の貢献度区分を選んだ理由 安全でおいしい水道水及び水質目標値に沿った水質の工業用水を常時供給できたことから、施策への貢献はありました。


改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分 I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 安全でおいしい水道水及び水質目標値に沿った水質の工業用水を常時供給するため、原水の水質悪化を抑制する必要があることから今後も取組を継続していきます。
------------------	---	---	---

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	水道計画課
-----	-------

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上 				
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給				
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底				
	取組 2	安全でおいしい水の取り組み				
取組の対象 (事業の対象となる人、物)		市民がいつでも安全でおいしい水道水を利用できるように徹底した水質管理を実施します。				
取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)						
取組の概要		水源から給水栓まで水質管理を徹底するとともに適正で信頼性の高い水質検査を実施し、安全でおいしい水を供給します。				
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画に基づく水質管理 ・適正な水質検査とその信頼性の確保 ・残留塩素低減化による塩素臭の少ないおいしい水の供給 ・浄水処理方法や水質に関する調査・検討 ・広域水質管理センターによる水源の水質監視 				
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		<table border="1"> <tr> <td>変更箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変更理由</td> <td></td> </tr> </table>	変更箇所		変更理由	
変更箇所						
変更理由						

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画に基づく水質管理 <ul style="list-style-type: none"> ①水安全計画の運用による水源から給水栓までの水質管理 ②水質検査計画に基づく水質検査とWEBサイト等での情報提供 ③水道GLPの認定更新による検査精度と信頼性の確保 ・残留塩素低減化による塩素臭の少ないおいしい水の供給 <ul style="list-style-type: none"> ④水温や浄水場からの送配水に係る時間等を考慮した適切な残留塩素の管理 ⑤水質自動測定装置による水質状況の常時測定 ・浄水処理方法や水質に関する調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> ⑥原水の水質に適した浄水処理方法の検討 ・広域水質管理センターによる水源の水質監視 <ul style="list-style-type: none"> ⑦水源水質検査結果と水源水質事故情報の迅速な情報共有
-----------------	--

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	①水安全計画のPDCAサイクルが適切に機能して良質で安全な水道水を供給することができました。 ②水質検査計画に基づいた検査を実施し、その結果をWEBサイトや広報紙において情報提供しました。 ③水道GLPの更新審査を受けて認定を更新することができました。 ④水温や浄水場からの送配水に係る時間等を考慮して浄水場出口の残留塩素濃度の設定を適宜変更し、適切に管理しました。 ⑤水質自動測定装置で水質状況を監視しました。 ⑥水源で発生する藻類による浄水処理障害に対して、浄水用薬品の注入方法の検討・実験をしました。 ⑦WEBブラウザ上での情報共有ツールにより水源水質検査結果や水質事故情報を迅速に情報共有できました。
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	水道水質基準適合率		計画目標値	-	100	100	100	100		%
		説明	給水栓における水道法に基づく水質基準を満足した検査回数/給水栓における水道法に基づく水質検査回数×100(%)	実績	100	100					
2	成果指標	残留塩素濃度低減化目標達成率		計画目標値	-	60	60	60	75		%
		説明	水質自動測定装置による残留塩素濃度0.3~0.5mg/Lの測定回数/水質自動測定装置による残留塩素濃度全測定回数×100(%)	実績	62.2	65.5					
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		水道	予算額	102,854			
繰越						0	
予算額						0	
決算額	86,441					86,441	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

(単位：千円)

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給	
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底	
	取組 3	工業用水の水質管理	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		工業用水利用者が、いつでも本市で設定した水質目標値に沿った適正な水質の工業用水を利用できるようにします。	
取組の概要		工業用水道事業法に則った水質測定項目による水質管理を徹底するとともに、適切な浄水処理の実施と供給水の常時監視の継続により、本市で設定した水質目標値に沿った適正な水質の工業用水を供給します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> 水質目標値に沿った水質管理 適正な水質測定 	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 水質目標値に沿った水質管理 <ul style="list-style-type: none"> ①浄水場における適切な浄水処理の実施と供給水の常時監視 ②工業用水道事業法に則った測定項目と頻度による水質測定 適正な水質測定
----------	--

実施結果 (Do)

<p>取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>①浄水場において原水の状況に応じて適切な浄水処理を実施するとともに、供給水の濁度、pH値、水温について常時監視したことで川崎市工業用水水質目標値に沿った工業用水を供給でき、目標を達成しました。 ②工業用水道事業法に則った測定項目と頻度で供給水を測定するとともに、水質管理上必要と判断した項目についても測定しました。また送配水系統を考慮して選定した工業用水利用者の工場において定期検査を実施し、水質が適正であることを確認できました。</p>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	工水水質目標達成率		計画目標値	-	100	100	100	100		%
		説明	川崎市工水水質目標値を達成した水質測定回数/工業用水道事業法に基づく全水質測定回数×(100%)	実績	100	100					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
		工水	予算額	15,892					15,892	30,000	
	繰越						0				
	予算額										
	決算額		7,608				7,608				
		予算額					0				
		繰越					0				
		予算額					0				
決算額						0					

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>		<p>気候変動に伴う大雨の増加などによる水質悪化等の変化に対応しながら、常に原水の水質に応じた適正な浄水処理を実施し、水質目標値に沿った適正な水質の工業用水を供給する必要があります。</p>
施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<p>A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い</p>		<p>適切な浄水処理と適正な水質測定により、常に水質目標値に沿った水質の工業用水を供給できたことから施策への貢献はありました。</p>

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<p>I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了</p>		<p>水質目標値に沿った水質の工業用水の供給を常時確保するため、水質目標値に沿った水質管理と適正な水質測定が必要なことから今後も取組を継続していきます。</p>

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道管理課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給【安全・安心】	
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底	
	取組 4	受水槽設備の適正管理に向けた支援	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	小規模受水槽(有効容量8m3以下)の適正管理を推進することにより、安全な水道水の安定供給を図ります。		
取組の概要	水道法及び条例に基づく年1回の定期検査の受検義務のない小規模受水槽を対象に、3年で市内を一巡する無料の点検調査を実施するとともに調査結果を所有者へ情報提供し、適正管理に向けた支援を行います。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> 小規模受水槽の点検調査の継続による適正管理への関与 ①小規模受水槽の点検調査 受水槽の管理状況等の情報提供 ②受水槽の管理状況等の情報提供 		
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 小規模受水槽の点検調査の継続による適正管理への関与 ①小規模受水槽の点検調査については、宮前区、多摩区、麻生区を対象に実施します。 受水槽の管理状況等の情報提供 ②受水槽の管理状況等の情報提供を行い、適正管理に向けた支援を行います。
----------	---

実施結果 (Do)

<p>取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模受水槽の点検調査の継続による適正管理への関与 ①小規模受水槽の点検調査については、宮前区、多摩区、麻生区を対象に実施しました。 ・受水槽の管理状況等の情報提供 ②受水槽の管理状況等の情報提供については、所有者へ情報提供を行いました。
---	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 4,492 繰越 予算額 決算額 3,756				
	予算額 繰越 予算額 決算額				0 0 0		

(単位：千円)

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課	給水装置課
-----	-------

取組の概要		
施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上 
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底【安心・安全】
	取組 5	直結給水方式の導入促進
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	配水管から受水槽を経由せずに新鮮な水道水を蛇口まで給水できるよう直結給水方式の導入を促進することにより、良質で安全な水道水の安定供給を図ります。	
取組の概要	上下水道局ウェブサイト等の広報により直結給水方式の導入を促進します。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)	・上下水道局ウェブサイト等による広報の充実 ①ウェブサイト等による広報 ・給水装置工事相談窓口での直結給水方式の導入促進 ②直結給水方式の導入促進	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所	
	変更理由	

計 画 (Plan)	
今年度の取組内容	・上下水道局ウェブサイト等による広報の充実 ①ウェブサイト等による広報については、局ウェブサイト等において、直結給水方式の導入によるメリットや具体的な手続きの流れを示す等、広報内容の充実を図ります。 ・給水装置工事相談窓口での直結給水方式の導入促進 ②直結給水方式の導入促進については、給水装置工事相談窓口において、リーフレットの配布等を行います。

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果

(上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)

- ・上下水道局ウェブサイト等による広報の充実
 - ①ウェブサイト等による広報については、直結給水方式の導入によるメリットや具体的な手続きの流れなどを追加するとともに局広報紙に記事を掲載しました。
- ・給水装置工事相談窓口での直結給水方式の導入促進
 - ②直結給水方式の導入促進については、給水装置工事相談窓口で配布するリーフレットにウェブサイトのQRコードを追加し、直結給水方式の導入を促進するとともに、小規模受水槽の点検調査時にリーフレットを配布しました。

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								
予算 決算 (単位： 千円)	事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)			
		予算額					0				
	繰越					0					
	予算額					0					
	決算額					0					
	予算額					0					
	繰越					0					
	決算額					0					

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分		実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)	
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		3	新鮮な水道水を蛇口まで給水できるように利用者に良質で安全な水への関心を高めるため、局ウェブサイト等による広報や給水装置工事相談窓口における直結給水方式の導入促進を実施していく必要があります。
施策への貢献度	貢献度区分		施策の貢献度区分を選んだ理由	
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A	局ウェブサイト等の広報を効果的に実施し、直結給水方式の導入を促進できていることから、施策である水道水の水質管理の徹底に貢献しています。	

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		I	良質で安全な水道水を蛇口まで供給するため、局ウェブサイトや給水装置工事相談窓口等において直結給水のメリットなどの広報を継続的に実施し、直結給水方式の導入を促進していきます。

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給【安全・安心】	
	施策 1	水道水・工業用水の水質管理の徹底	
	取組 6	市立小・中学校の直結給水化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		次世代を担う子どもたちに、受水槽を経由せずに新鮮で冷たくおいしい水を供給することで蛇口から直接水道水を飲む文化の継承を図ります。	
取組の概要		教育委員会の計画に基づき、市立小・中学校の直結給水化を共同で推進します。また、配水管の水圧を有効利用し、ポンプ設備等の消費電力を削減することで、環境負荷の低減も図られます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の計画に基づいた、市立小・中学校の直結給水化 ①市立小・中学校の直結給水化の促進 	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の計画に基づいた、市立小・中学校の直結給水化 ①市立小・中学校の直結給水化を促進については、教育委員会と調整を図りながら2校の直結化を推進します。
----------	---

実施結果 (Do)

<p>取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>・教育委員会の計画に基づいた、市立小・中学校の直結給水化 ①市立小・中学校の直結給水化の促進については、まちづくり局発注(教育委員会依頼)の直結給水化工事(千代ヶ丘小学校、井田中学校)が、入札不調となり再発注となったことから、完成が次年度となりました。</p>
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	9,000				
	予算額				0		
	繰越				0		
	決算額	0			0		
予算 決算 (単位： 千円)	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	4	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った 		<p>学校用地内の施工時期は長期休暇に限定されることなどの事情を考慮した工事発注時期の検討や入札不調への対策について、関係局との調整を進める必要があります。</p>

施策への貢献度	貢献度区分	B	施策の貢献度区分を選んだ理由
	<ol style="list-style-type: none"> A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い 		<p>令和4年度は入札不調により直結給水化の推進は図れませんでした。まちづくり局の発注に当たり、サービスセンター等による給水装置改造に関する協議、相談等を行ってきた取組は、次世代を担う子どもたちに、受水槽を経由せずに新鮮で冷たくおいしい水を供給し蛇口から直接水道水を飲む文化の継承に繋がることから、施策にやや貢献していると評価しています。</p>

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	II	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	<ol style="list-style-type: none"> I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了 		<p>小・中学校の直結給水化は、次世代を担う子どもたちに、水道水の安全性やおいしさを理解してもらうとともに、ポンプ設備等の消費電力を削減し、環境負荷の低減が図れることから、継続して推進していきます。</p> <p>今年度の目標を達成できなかった要因の入札不調に関しては、間接的ではありますが、手続き等を円滑に進める等の協力を図りながら進めていきます。</p>

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給	
	施策 2	県内水道事業者や企業団等との広域連携	
	取組 7	ダムの相互連携等による水運用	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水源を共にする県内水道事業者や企業団等と連携し、ダムの相互連携等による効率的な水運用を実施することにより、安定した水の供給を継続します。	
取組の概要		相模川水系の相模ダム・城山ダム・宮ヶ瀬ダムを導水路で連携した相模川水系総合運用や企業団施設を中心とした相模川水系と酒匂川水系の2水系の連携により、効率的な水運用を実施し、小雨時等に備えます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> ・相模川水系総合運用による効率的な水の運用 ①相模川水系総合運用 ・相模川水系と酒匂川水系の連携による効率的な水運用 ②相模川水系と酒匂川水系の連携 	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相模川水系総合運用による効率的な水の運用 ①相模川水系総合運用については、ダムの相互連携により、効率的な水運用を行い、小雨時等に備えます。 ・相模川水系と酒匂川水系の連携による効率的な水運用 ②相模川水系と酒匂川水系の連携については、企業団の施設を中心として、2水系を連携することにより、水源水質事故リスクの低減を図るとともに、効率的な水運用を行い小雨時等に備えます。
----------	--

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・相模川水系総合運用による効率的な水の運用 ①相模川水系総合運用については、ダム相互連携により、効率的な水運用を行い、安定した水の供給を継続することができました。 ・相模川水系と酒匂川水系の連携による効率的な水運用 ②相模川水系と酒匂川水系の連携については、企業団の施設を中心として、2水系を連携することにより、水源水質事故リスクの低減を図るとともに、効率的な水運用を行い、安定した水の供給を継続することができました。
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	説明		計画目標値	-							
			実績								
2	説明		計画目標値	-							
			実績								
3	説明		計画目標値								
			実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
	予算 決算 (単位：千円)	予算額 繰越 予算額 決算額					
	予算額 繰越 予算額 決算額					0 0 0 0	

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		水源水質事故や小雨時のリスクに備え、安定した水の供給を継続していくため、県内水道事業者や企業団等と連携し、ダムの相互連携など効率的な水運用を継続していく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		ダムの相互連携など効率的な水運用の実施により、水資源を無駄にすることなく有効に活用し、安定した水の供給に貢献することができました。

改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		水源水質事故や小雨時のリスクに備え、安定した水の供給を継続していくため、県内水道事業者や企業団等と連携し、ダムの相互連携など効率的な水運用を継続していきます。

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	良質で安全な水の安定供給	
	施策 2	県内水道事業者や企業団等との広域連携	
	取組 8	最適な水道システムの実現に向けた取組	
取組の対象 <small>(事業の対象となる人、物)</small> 取組の目的 <small>(対象をどのような状態にしたいか)</small>		施設の老朽化や水需要の減少など水道事業者に通ずる課題に対して、水源を共にする県内水道事業者と企業団の5事業者で連携し、最適な水道システムの実現に向けた検討を進めることで、将来にわたる水道水の安定供給を確保します。	
取組の概要		最適な水道システムの実現に向けて、施設のバックアップ機能の強化や環境負荷の低減等を目的とした上流取水の優先的利用など、県内水道システムの再構築の具体的な検討を5事業者で進めます。また、5事業者で連携して開設した広域水質管理センターによる水源の水質管理を継続するとともに、水質関連業務の効率化と対応強化を図るため、更なる業務の共同化等について検討を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> ・県内水道システムの再構築の検討 ・広域水質管理センターによる水質管理 	
当初の計画からの変更箇所とその理由 <small>(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)</small>	変更箇所		
	変更理由		

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県内水道システムの再構築の検討 ①県内水道システムの再構築については、5事業者で連携し、最適な水道システムを実現する共通の施設整備内容とその負担方法について検討を進めるとともに、上流取水の優先的利用の実現に向けて関係機関と協議を進めます。 ・広域水質管理センターによる水質管理 ②広域水質管理センターによる水源の水質管理を継続して実施します。また、令和7年度からの広域水質管理センターの次期共同事業の協定締結に向けて、更なる業務の効率化と対応強化を図るため、水質管理業務や検査機器、調査研究、研修などの共同化について検討を進めます。
-----------------	--

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・県内水道システムの再構築の検討 ①県内水道システムの再構築の検討については、5事業者の会議体において、共通の施設整備の概要を取りまとめ事業者間で合意しました。また、上流取水の優先的利用の実現に向けて、神奈川県水道広域化推進プランに5事業者の取組を反映し、県の計画として位置付けました。 ・広域水質管理センターによる水質管理 ②広域水質管理センターによる水源の水質管理を継続して実施しました。また、更なる業務の効率化を図るため、5事業者で共通する相模川酒匂川水質協議会の業務と広域水質管理センターの業務の仕分けを見直し、整理するとともに、放射線物質分析業務や研修業務の共同化など広域水質管理センターの次期共同事業の業務概要について取りまとめました。
--	---

指標分類	指標名 説明	目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定 目標値	変更 目標値	単位
1	説明	計画目標値	-							
		実績								
2	説明	計画目標値	-							
		実績								
3	説明	計画目標値								
		実績								

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		予算額					
予算 決算 (単位： 千円)	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		県内水道システムの再構築における施設整備の概要や広域水管理センターの次期共同事業の業務を取りまとめるなど、順調な進捗を確保しています。引き続き、最適な水道システムの実現に向けて、検討を進めていく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		県内水道システムの再構築における施設整備の概要や広域水管理センターの次期共同事業の業務を取りまとめるなど、検討を進捗させ、将来にわたる安定供給の確保に向けて取組を前進させました。

改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		将来にわたり良質で安全な水を安定して供給するため、最適な水道システムの実現に向けて、引き続き検討を進めていく必要があります。県内水道システム再構築における施設整備計画とその費用負担方法の検討や広域水質管理センターの次期共同事業の運営方法の検討等、取組を推進していきます。

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 9	水道施設の耐震化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	主要な水道施設の耐震化を進めることで、安心して使用することのできる水道水を市民へ安定供給するとともに、大規模災害時においても必要な水道水の供給維持を図ります。		
取組の概要	震災時においても市民生活や事業者の経済活動に必要な水道水・工業用水を安定的に供給するため、主要な施設である浄水場や配水池等の更新・耐震化を進めてきており、未実施の施設について継続して耐震化を実施します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ①黒川高区配水池(令和4年度未完了) ②千代ヶ丘配水塔2号塔(令和4年度未完了) 		
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ①黒川高区配水池の耐震化を推進します。 ②千代ヶ丘配水塔2号塔の耐震化を推進します。
----------	---

実施結果 (Do)

<p>取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>・施設の耐震化 ①黒川高区配水池の耐震補強工事が、目標どおり完了しました。 ②千代ヶ丘配水塔2号塔の耐震化については、工事に伴い発生する騒音・振動に対し、近隣住民から強い陳情を受け、この調整に時間を要したため、目標をわずかに下回りました。</p>
---	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	配水池・配水塔の耐震化率		計画目標値	-	100	-	-	100		%
		説明	耐震化された配水池・配水塔の有効容量 / 配水池・配水塔の全有効容量 × 100 (%)	実績	98.5	99.1					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費 (4年間)
		水道	予算額 893,854 繰越 27,950 予算額 683,791 決算額				
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

(単位：千円)

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	4	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 10	水道管路の耐震化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		水道管路の計画的な耐震化を進めることで、市民が安心して使用することのできる水道水を安定供給するとともに、大規模災害時においても必要な水道水の供給維持を図ります。	
取組の概要		水道管路の耐震化については、主に更新時期を迎えた管路を更新することで耐震化を進めていますが、管路延長は膨大であり、すべての管路を耐震化するには多くの時間を要することから、優先的に耐震化を進める管路を選定し、効率的・効果的に耐震化を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> 水道管路の更新に合わせた耐震化 重要な管路の耐震化(令和4年度未完了) 地震被害想定等を考慮した「新たな重要な管路」の選定・耐震化の実施 	
当初の計画からの変更箇所とその理由 (取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道管路の更新に合わせた耐震化 ①水道管路の更新に合わせた耐震化については、更新時期を迎えた非耐震管を更新し耐震化を推進します。 重要な管路の耐震化(令和4年度未完了) ②重要な管路の耐震については、重要給水施設への供給ルートの管路や震災時の被害が懸念される老朽配水管などの「重要な管路」の耐震化を推進します。(令和4年度完了) 地震被害想定等を考慮した「新たな重要な管路」の選定・耐震化の実施 ③地震被害想定等を考慮した「新たな重要な管路」の選定・耐震化の実施については、次年度から対象とする施設及び路線を選定します。
----------	---

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・水道管路の更新に合わせた耐震化 ①水道管路の更新に合わせた耐震化については、管路の老朽度・構造・今後の工事量の平準化等を考慮して策定した更新計画に基づき、工事を発注し取組を推進しました。 ・重要な管路の耐震化(令和4年度未完了) ②重要な管路の耐震化については、重要施設への供給ルートへの耐震化を概ね完了しました。一方、老朽配水管については、関係機関等との調整の結果、次年度以降の施工となった路線等により、目標値をわずかに下回りました。 ・地震被害想定等を考慮した「新たな重要な管路」の選定・耐震化の実施 ③地震被害想定等を考慮した「新たな重要な管路」の選定・耐震化の実施については、次年度から新たに対象とする施設及び路線を選定しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	管路全体の耐震化率		計画目標値	-	40.1	41.7	43.3	44.9	44.9	%
		説明	耐震化された管路の延長/管路の総延長×100(%) ※管路の総延長約2,500km	実績	38.8	40.8					
2	成果指標	重要な管路の耐震化率		計画目標値	-	100	-	-	-	100	%
		説明	耐震化された重要な管路の延長/重要な管路の総延長×100(%) ※重要な管路の総延長約800km	実績	96.2	97.9					
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)	
								事業
予算 決算 (単位: 千円)	水道	予算額	12,554,681			12,554,681	44,900,000	
		繰越	2,191,629			2,191,629		
		予算額						
		決算額	10,188,680			10,188,680		
		予算額				0		
		繰越				0		
	予算額				0			
	決算額				0			

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った	3

施策への貢献度	貢献度区分	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	A

改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了	I

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 11	水道基幹管路の強化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めることで、市民が安心して使用することのできる水道水を安定供給するとともに、大規模災害時においても必要な水道水の供給維持を図ります。		
取組の概要	基幹管路の断水や水圧低下は市民生活に大きな影響を与える可能性があることから、バックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化を進めるため、施設間(配水池・配水塔)を結ぶ連絡管などの整備を行います。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 ①千代ヶ丘2号送水管(令和4年度未完了) ②東百合丘配水管(令和4年度未完了) ③高石3号配水管(令和7年度未完了) ④犬蔵配水管 ⑤土橋配水管(令和7年度未完了) ⑥管配水管(令和7年度未完了) ⑦その他管路 		
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計 画 (Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 ①千代ヶ丘2号送水管の整備を推進します。 ②東百合丘配水管の整備を推進します。 ③高石3号配水管の整備の検討を行います。 ⑤土橋配水管の整備の検討を行います。
----------	---

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 ①千代ヶ丘2号送水管については、目標通り令和4年度末に整備を完了しました。 ②東百合丘配水管については、目標通り令和4年度末に整備を完了しました。 ③高石3号配水管については、令和6年度の整備開始に向けて、基本設計委託業務を実施しました。 ⑤土橋配水管については、令和5年度の整備開始に向けて、詳細設計委託業務を実施しました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	活動指標	バックアップ機能強化のための管路整備(計画期間内)	計画目標値	-	2	2	2	5	5		路線
		説明	計画期間内に完了予定のバックアップ機能強化のための管路整備路線数	実績	-	2					
2			計画目標値								
		説明		実績							
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		水道	予算額 1,103,222 繰越 348,480 予算額 1,625,394 決算額				
	予算額					0	
	繰越					0	
	予算額					0	
	決算額					0	

(単位：千円)

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		

改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 12	工業用水道基幹管路の強化	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	工業用水道基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めることで、工業用水を工業用水道利用者へ安定供給するとともに、大規模災害時においても必要な工業用水の供給維持を図ります。		
取組の概要	工業用水は3本の送水管にて臨海部を中心に送水しており、送水管を断水した場合には、工業用水道利用者の経済活動に大きな影響を与えることから、バックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化を図るため、長沢浄水場と生田浄水場を結ぶ浄水場連絡管及び3本の送水管を結ぶ送水連絡管の整備を実施します。		
計画期間の取組内容 (R4～R7)	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 <ol style="list-style-type: none"> ①浄水場連絡管(令和7年度未完了) ②1・3号送水連絡管(令和6年度未完了) ③2・3号送水連絡管(令和7年度未完了) 		
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)	変更箇所		
	変更理由		

計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 工業用水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 <ol style="list-style-type: none"> ①浄水場連絡管の整備の検討を行います。 ②送水連絡管(2路線)の整備の検討を行います。
----------	---

実施結果 (Do)

<p>取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)</p>	<p>・工業用水道基幹管路のバックアップ機能強化のための二重化・ネットワーク化 ①浄水場連絡管については、整備開始に向けて、詳細設計及び工事施工の一括発注を完了しました。 ②送水連絡管(2路線)については、令和6年度の整備開始に向けて、詳細設計委託業務を実施しました。</p>
--	--

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	バックアップ機能強化のための管路整備(計画期間内)	計画目標値	-	-	-	1	3	3		路線
		説明	計画期間内に完了予定のバックアップ機能強化のための管路整備路線数	実績	-	-					
2			計画目標値								
		説明		実績							
3			計画目標値								
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)	
		工水	予算額	63,150				
	繰越					0		
	予算額							
	決算額	0				0		
予算 決算 (単位： 千円)	工水	予算額					0	
		繰越					0	
		予算額					0	
		決算額					0	

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		送水管断水時の工業用水道利用者への影響の大きさを考慮し、引き続き、連絡管の整備を推進する必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		連絡管の整備に向けた工事の発注や詳細設計業務等を確実に推進しており、工業用水道利用者へ安定給水するとともに大規模災害時においても必要な工場用水の供給維持に繋がっていることから、施策に貢献しています。

改善 (Action)


今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		工業用水の安定供給を維持するとともに、大規模地震発生時にも、工業用水道利用者への影響を最小限に抑えるため、引き続き基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めていきます。

令和4年度 中期計画評価シート【取組】

所管課

水道計画課

取組の概要

施策体系上の位置づけ	基本目標 I	安定給水の確保と安全性の向上	
	10年間の方向性	災害時の機能維持【強靱】	
	施策 3	水道・工業用水道の災害時における機能強化	
	取組 13	応急給水拠点等の整備	
取組の対象 (事業の対象となる人、物) 取組の目的 (対象をどのような状態にしたいか)		大規模災害時において、ご家庭などで水道が利用できない状況になった場合でも市民に水を供給できるよう、応急給水拠点の整備を進めます。	
取組の概要		避難所に指定されている全ての市立小・中学校や配水池・配水塔などに開設不要型応急給水拠点の整備を進め、令和5年度末を目標に整備を完了させます。併せて、応急給水拠点を補完する施設として、水道水源として廃止した井戸を活用し、臨時給水用井戸の整備を進めます。 また、さらなる利便性の向上について検討し、必要に応じて整備を進めます。	
計画期間の取組内容 (R4～R7)		<ul style="list-style-type: none"> ・開設不要型応急給水拠点の整備(令和5年度未完了) ・応急給水拠点の利便性の検討及び拡充 ・臨時給水用井戸の整備(令和4年度未完了) 	
当初の計画からの変更箇所とその理由(取組の概要、計画期間の取組内容や計画目標値を変更して進捗管理している場合に記入)		変更箇所	
		変更理由	

計画(Plan)

今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開設不要型応急給水拠点の整備(令和5年度未完了) <ol style="list-style-type: none"> ①開設不要型応急給水拠点の整備を推進します。(市立小・中学校28校、配水池・配水塔など1箇所) ②応急給水拠点のさらなる利便性の向上に向けた整備の検討を実施します。 ③臨時給水用井戸の整備を推進します。
----------	---

実施結果 (Do)

取組内容の実績及び定性的成果 (上記「今年度の取組内容」に対し、目標を上回って達成した場合、又は、目標を下回った場合は、その理由も記載)	・開設不要型応急給水拠点の整備(令和5年度未完了) ①開設不要型応急給水拠点の整備については、目標である28校を上回る30校及び配水池・配水塔などの1か所へ設置を実施しました。 ・応急給水拠点の利便性の検討及び拡充 ②応急給水拠点については、利便性の向上に向けて、新たな整備の必要性や対象施設等の検討を実施しました。 ・臨時給水用井戸の整備(令和4年度未完了) ③臨時給水用井戸については、調整に時間を要し発注時期が遅れたため、整備の完了が次年度以降となりました。
--	---

指標分類	指標名		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	策定目標値	変更目標値	単位
	説明										
1	成果指標	開設不要型応急給水拠点の整備率		計画目標値	-	84	100	-	-	100	%
		説明 開設不要型応急給水拠点の整備数/開設不要型応急給水拠点の計画整備数×100(%)		実績	67.8	85.1					
2				計画目標値	-						
		説明		実績							
3				計画目標値							
		説明		実績							

事業	予算・決算	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計	計画事業費(4年間)
		水道	予算額 236,040 繰越 予算額 決算額 44,587				
	予算額 繰越 予算額 決算額				0		
						0	
						0	
						0	

(単位：千円)

評価 (Check)

今年度の取組内容に対する達成度	達成度区分	3	実施結果等を踏まえた課題(事業を取り巻く社会環境の変化も含めて記載)
	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		臨時給水用井戸については、発注時期の遅れにより整備が完了しなかったものの、成果指標である「開設不要型応急給水拠点の整備率」は目標を上回っていることから全体としては、ほぼ目標を達成できました。引き続き、さらなる利便性の向上について検討を進めるとともに、令和5年度未完了に向け応急給水拠点の整備を進めていく必要があります。

施策への貢献度	貢献度区分	A	施策の貢献度区分を選んだ理由
	A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い		成果指標である「開設不要型応急給水拠点の整備率」は目標値を達成しており、避難所に指定されている全ての市立小・中学校や配水池・配水塔などへの開設不要型応急給水拠点の整備は確実に推進し、大規模災害時において、ご家庭などで水道が利用できない状況になった場合でも、必要な水道水の供給に繋がっていることから、施策に貢献しています。

改善 (Action)

今後の取組の方向性	方向性区分	I	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 取組規模拡大 IV. 取組規模縮小 V. 取組廃止 VI. 取組終了		大規模災害時において、ご家庭などで水道が利用できない状況になった場合でも市民に水を供給できるよう、応急給水拠点の整備を引き続き推進します。また、臨時給水用井戸についても、工事完成に向け取り組んでいきます。